

保護者会の活動紹介 第4回目



春日部共栄中学高等学校は、9年前に中学を併設し、高校生約1700名、中学生約400名、計2100名の生徒がおり、後援会は、その保護者により構成され、各学年の委員116名と本部役員9名（会長・副会長・庶務・会計・監事）により活動しております。

昨年は創立30周年を迎え、記念行事では、春日部出身の脳科学者の茂木健一郎さんの講演会を開催する事が出来ました。講演は、脳のメカニズム・現代の子供は世界に通用するか・教育のガラパゴス化など親子共に興味深い話が盛り沢山で、生徒からの質問を交えながらの1時間は短く感じ、大変貴重な時間になったものと思います。

最近の主な活動としては、毎年恒例の6月に行われる文化祭の「藤桐祭」がありました。今年は節電の呼びかけもあり、電気を使った飲食の模擬店が少なくなるのを懸念して、後援会では発電機を持ち込みジェラートアイスクリームの販売を行いました。当日は天気にも恵まれ、前年の倍の数を完売し、売上の一部を東北の復興支援に寄付させて頂きました。また、藤桐祭へ出店するにあたり、新たな試みとして後援会Tシャツを作り、背中には「KASUKABE KYOEI ザ・後援会・サポーター」とプリントを入れました。このサポーターと入れたのは、「開かれた後援会」を意味するもので、今年はOBの方やそのお友達など沢山の方にTシャツを着てご協力頂く事が出来ました。このTシャツは7月に行われた高校

野球の決勝戦の応援でも着用される方がいて、追加注文をする事になりました。春日部共栄は、野球・水泳・バレーボール・吹奏楽部などの部活が活発で役員のお子様も多く所属している為役員会でも自然と話に熱が入ります。また、先生、保護者の壁もなく一体となって学校を応援し、教育の話まで及ぶ事も多々あります。そして、卒業後も学校のサポーターとして活動にご協力頂いているのは、私どもの後援会の特色ではないかと思えます。

平成23年度 埼玉私学保連役員と理事

- | | | |
|-----|-------|---------|
| 会長 | 島村 健 | (大妻嵐山) |
| 副会長 | 山下全代 | (狭山ヶ丘) |
| 副会長 | 飯塚幸一 | (東農大三) |
| 副会長 | 石戸隆明 | (昌平) |
| 副会長 | 寶野慶文 | (山村国際) |
| 会計 | 前田典子 | (小松原) |
| 会計 | 関口和弘 | (武南) |
| 書記 | 岩崎陽子 | (大宮開成) |
| 書記 | 金子千尋 | (大宮開成) |
| 理事 | 石原正美 | (国際学院) |
| 理事 | 小暮泰雄 | (武蔵越生) |
| 理事 | 内田誠之郎 | (城北埼玉) |
| 理事 | 干川結花 | (城北埼玉) |
| 理事 | 近藤公秋 | (春日部共栄) |
| 理事 | 斉木泰光 | (城西川越) |
| 理事 | 柳沼 薫 | (獨協埼玉) |
| 理事 | 松本成仁 | (西武文理) |
| 監事 | 山口真司 | (大妻嵐山) |
| 監事 | 佐藤泰彦 | (正智深谷) |

以上、19名で頑張っておりますので、1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

埼玉私学保連ニュース

2011年10月発行 Vol.9

Saishigakuuhoren NEWS

発行 / 埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会

所在地 / さいたま市浦和区高砂 4-13-20 埼玉私学会館内 TEL.048-866-4478 FAX.048-866-4479

平成23年度会長就任にあたって

埼玉県私立小学校中学校高等学校
保護者会連合会

会長 島村 健



皆様には、日頃より埼玉私学保連の活動にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。平成23年度の総会におきまして早船前会長の後任としてご承認いただきました島村でございます。大変な重責ではありますが、役員の方々と力を合わせて活動に取り組んでまいりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉私学保連は、私学振興と青少年の健全育成のために平成19年に設立し、今年で5年目を迎えます。今までの主な活動としては、埼玉県私立中学高等学校協会と協力して、公私間格差是正の請願署名活動そして私学振興大会を開催してきました。また、研修会では、講演会と保護者会の実践報告として毎年2、3校に行っていたいただき、熱心な質問や意見交換をいただいております。

昨年は、9月県議会で私学教育振興のため、公費助成のさらなる充実を求める請願を採択いただき、父母負担軽減事業補助に関しては全国最高の水準になりました。関係する皆様へ感謝申し上げます。

しかしながら、運営費補助の充実につきましては、全国でも低い水準にありますので、埼玉県私立中学高等学校協会、さらに、日私学保連と協力してこれからも更なる公私間格差是正、私学振興活動を進めていきたいと思っております。

保護者会の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、積極的なご参加と様々な機会に率直なご意見や考えをお聞かせいただくことをお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

埼玉私学保連とは

私学助成運動や青少年健全育成などの私立学校振興のため、埼玉県内の私立小学校、中学校、高等学校の保護者会の現役役員を中心とする組織として平成19年2月18日に誕生しました。21世紀を担う青少年の健全育成や児童、生徒の安全、防災、防犯問題等についても、保護者間で情報を共有し、関係団体と相互に協力して、私立学校教育の充実・発展に寄与していきます。

今後の予定

平成23年11月18日(金) 13:00 開会
埼玉県私学振興大会
於：さいたま市文化センター
平成24年2月18日(土)
研修会
於：さいたま市民会館うらわ

埼私学保連活動の報告

平成23年度定期総会

副会長 寶野 慶文

6月5日(日)14:00より加盟校36校、38団体中31団体、3校のオブザーバー参加を含む103名の参加をいただき、さいたま市文化センター4階の多目的ホールにおいて、盛大に開催されました。

平成22年度、早船会長の挨拶、ご来賓のご挨拶の後

- (1) 平成22年度事業報告
- (2) 平成22年度決算報告・監査報告
- (3) 会則の一部改正について(任期)
- (4) 平成23年度役員(案)
- (5) 平成23年度活動方針・事業計画(案)
- (6) 平成23年度予算(案)

以上、6議案全てにおいて満場一致にて、可決、ご承認をいただきました。

議事の中では、大変多くのご質問や建設的なご意見をいただき、皆様の埼私学保連に対する熱い想いが感じられ、新役員一同これからの運営に活かしていきたいと思いました。

退任役員を代表して早船雅文会長が在任中の感謝の意を、新任役員を代表して、島村健新会長が今年度の抱負やご協力のお願いの挨拶をさせていただきました。

総会後の懇親会では、学校間の交流や新旧役員の見聞交換などがおこなわれ、有意義な時間を過ごす事となりました。

日本私学全国大会(北海道)参加報告

副会長 石戸 隆明

平成23年7月8、9日島村会長と共に、日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会の総会・



研修会(北海道大会)に参加。大会タイトル「魅力ある私学を支えるために がんばろう日本・がんばれ東北」～大震災を踏まえ元気になろう～とサブタイトルがつけられた大会では、日私中高連会長の吉田晋様を始め、北海道知事・衆議院議員・参議院議員・北海道学事課長・文部科学大臣代理を来賓として迎え、前年度の事業及び決算・監査報告、今年度事業計画・予算案及び役員改選・会則の一部変更の承認がされ閉会となりました。

懇親会に先立ち、北海高等学校・札幌龍谷学園高等学校弁論部の発表がありました。北海高校は日本一古い106年を迎える部活で、全国大会でも優勝するほどの部だそうです。また、札幌龍谷学園は平成20年に全国大会最優秀賞に輝いたそうです。現代のメールやTwitter、SNSとは違って、弁論という聴衆と「顔」を突き合わせながら感情と論理に訴えかけるコミュニケーションの原型は、参加者を魅了しました。さらに、とわの森三愛高等学校ハンドベル部の演奏があり、ハンドベルの澄んだ音色が暑さを忘れさせてくれました。この学校はクリスマスに札幌市内のホテルやショッピングセンターなどでのミニコンサートを行うことでも有名だそうです。どれも北海道の特色のある発表でした。

翌日は研修会が開催され、午前には北海道保険福祉部医療業務課主査(吉田隆之様)による「最近の薬物乱用防止対策について」をタイトルにした中高大

学生の意識調査や現況について講演。

二部の基調講演では「思うは招く～夢があればなんでもできる～」と題して株式会社植松電機専務取締役の植松努様より講演をいただきました。講演は、日本初のみならず世界初を生み出す物づくりを通しての力と、子供たちへの夢に向かうためのメッセージが心に強く残り、笑いと涙を誘う素晴らしい講演でした。沢山お伝えしたいのですが、植松様のDVDや本、マンガなども出版されているとのことですので、是非見ていただければと思います。子どもだけではなく、大人も含めた多くの人の考え方を変えてしまうかもしれません。

午後は日私学保連顧問の武田龍吉様より「教育費の公私間格差について」の講演があり、団体の結束を深めて終了しました。

平成23年度 日私学保連 関東地区代表者会及び研修会 埼玉大会を終えて

副会長 山下全代

8月26日(金)13:30より平成23年度 日私学保連「関東地区代表者会及び研修会」がラフレさいたまを会場に、関東各県の代表者約140名が参加いたしました。盛大に開催されました。

新年度メンバーとなって、初めての事業運営となりました。

代表者会の協議報告事項といたしまして

- (1) 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会・会則について(千葉県)
- (2) 各県の聴取希望事項及び情報交換
- ①保護者参加の活性化について(茨城県から)
- ②県私学保連本部役員選出方法について
- ③国・県の財政危機に伴う助成金の大幅アップが望めない現状の中で、どんな見通しを持って私学振興運動を展開しているのか(②③は埼玉県から)

(3) 次期開催担当県について 群馬県

(ローテーション:群馬→栃木→茨城→千葉→神奈川→埼玉)

上記について、協議・報告が活発に行われました。



代表者会に続き、研修会では『思春期の中高生と歩む』～共に喜び、共に泣く～というテーマで、前立教新座中学・高等学校長、現在は埼玉で最初に創立された麗和幼稚園の園長先生をされており西村俊彦先生による講演が行われました。

西村先生の教員経験をふまえたお話しの中から、思春期の子供たちの悩みや不安に、私たち親がどう向き合えばいいのか、学ぶことや考えさせられることが沢山ありました。

研修会閉会后、夕刻より同建物にて懇親会があり、約75名の参加で、盛大且つとても和やかに意見交換が行われました。今回の関東地区代表者会及び研修会においては、全体的に埼玉県らしい開催が出来たと思います。

又、加盟校の保護者の方々にも、お忙しい中多数、研修会に参加して頂きました。これからも多くの保護者の皆様に、埼私学保連の活動へのご理解ご協力を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

